



診療科の連携とチーム医療 ～内視鏡センター・IVRセンター・消化器外科～

当院の内視鏡センターには大学病院と同等の設備を有する内視鏡検査室(4室)があり、AIによる診断支援がおこなえる内視鏡画像診断支援プログラム【EndoBRAIN-EYE】を導入し、様々な内視鏡治療に対応しています。

各診療科との連携

内視鏡センター・IVRセンター・手術室が同じフロアにあり、患者さまへの移動の負担が少なくすぐに治療にあたることができます。

例えば吐血や下血など、消化管での出血が疑われる場合は、内科(消化器内科)医師が内視鏡で止血処置をします。

それでも止血が困難な時はIVRセンターで血管から造影剤を使って出血しているところを探し、止血処置をおこないます。

※IVR：レントゲン(エックス線透視)などの画像をみながら病気の状態を細部まで正確に診断したうえで、カテーテルという細い管や針を操作して病気を治す体にやさしい治療法

出血している原因が外科的なものである場合(穿孔・潰瘍など)は外科医師が手術等での処置をします。



チーム医療のメリット

当院では関連するすべての診療科で常勤医師がいるため素早く対応でき、情報共有もスムーズにおこなうことができます。また、医師だけでなく、看護師・放射線技師・生理学的検査を行う臨床検査技師・医療機器の操作および保守点検を行う臨床工学技士と専門のスタッフが充実しています。常日頃から他職種との連絡体制が出来ているため、一つのチームとして一丸となって治療にあたっており、安心して内視鏡検査を受けていただくことができます。

